

ボリビア向けに尿素技術供給契約を調印

2012年10月4日

東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社(TOYO、取締役社長 石橋克基)は、ボリビア国営石油会社(YPFB)向けに、同国コチャバンバ県カラスコに建設する日産2,100トンの大粒尿素プラントの技術供給をする契約を調印しました。当社は尿素ライセンスとしてYPFBに技術供給を行うものです。当社の契約範囲は、ライセンス供与と基本設計図書の作成および一部の主要機器の供給で、プラントは2015年スタートアップを予定しています。なお、このプロジェクトの全体建設工事は韓国サムスンエンジニアリング(SECL)が請負うことになっており、当社の契約はSECLを通じてなされます。

本プロジェクトは、ボリビアで豊富に産出される天然ガスの付加価値を高める政府計画の中で最初のプロジェクトであり、高品質な大粒尿素を生産することで輸入品の代替と同国の耕作地拡張を図るとともに、近隣諸国への輸出も目指しています。当社の尿素合成技術「ACES21[®]」と大粒造粒技術は、建設費とユーティリティ消費量の低減に秀でた技術であり、現在までに世界中で、ACES21[®] 8プラント、大粒尿素21プラントの実績があります。当社は尿素技術のライセンスであると共に、肥料プラントのEPCコントラクターとして世界トップクラスの実績があり、現在もベネズエラおよびインドネシアで肥料プラントのEPCプロジェクトを遂行中です。本プロジェクトはボリビアでの当社最初のプロジェクトであり、今後も同国におけるプラントビジネスの拡大に注力して参ります。

受注概要

- 客先: ボリビア国営石油会社(Yacimientos Petrolíferos Fiscales Bolivianos)
- 受注者: 東洋エンジニアリング株式会社
- 役務範囲: 尿素合成技術、大粒造粒技術のライセンス供与、基本設計図書作成および一部の主要機器供給
- 対象設備: 尿素 2,100トン/日
- 建設地: ボリビア、コチャバンバ県カラスコ(Carrasco, Province of Cochabamba, Bolivia)
- 完成予定: 2015年

(注) - ACES21 は、東洋エンジニアリング株式会社の日本における登録商標です。(登録番号 4309123)

- EPC: 設計・調達・建設

<お問い合わせ先> 広報・IR室 [担当: 佐藤、深沢] Tel: 047-454-1113